

## キヤノン株式会社

### 2023年第1四半期 決算説明会【主なQ&A要約】

**Q1. 今回配当見通しを開示した理由と金額を据え置いている理由を教えてください。**

**A1.** 今回は投資家の要望を反映し、まずは前年と同じ配当見通しを示したが、配当性向50%を目途とする方針に変更はなく、上期の業績の進捗を見た上で、あらためて金額を検討していきたい。

**Q2. 第2四半期以降のカメラ市場及びキヤノンのカメラ事業の見通しはどうか。**

**A2.** カメラ需要は以前のような規模になることはないが、底堅く推移すると考えている。ユーザーのすそ野を広げるべくミラーレス新製品を投入してラインナップ拡充をする事で、売上成長と収益性向上を図っていく。

**Q3. イメージングの利益率が第2四半期以降低下している理由はなにか。**

**A3.** 第1四半期は販売投資を抑えられた事もあり、利益率が上振れている。第2四半期以降については、マーケットシェアを拡大するための販売投資を計画に織り込んでいる。

**Q4. ネットワークカメラの売上が第1四半期で大きく伸びた要因**

**A4.** 昨年の第1四半期は、部品逼迫による供給制約や、コロナ影響による設置遅延があったが、供給制約が解消した今年は、その反動で成長率がひととき高くなっている。

**Q5. 年間見直し修正について、経費を抑えられた理由を教えてください。**

**A5.** 年初計画では、光熱費や物流費等のコストが大きく上昇すると見込んでいたが、上り幅は当初見込んでいたよりも小さくなると想定して計画を見直している。

**Q6. 資本コストを意識した経営が求められる中、ROEに対してどのような考えか。**

**A6.** ROEだけを特に取り上げて改善するのではなく、総合的な視点から経営努力を行って収益性を高め、ROEを含めた指標の改善を図っていく。

**Q7. 株主総会における取締役再任の賛成率が低かった事をどう捉えているか。**

**A7.** 取締役の信任率が年々下がっているのは認識している。報道等で幾つか理由が挙げられているが、当社としても今回の件を真摯に受け止め、適切な対応を検討している。